

先日、中原地区及び高津地区にて水神祭が開催されました。その中で高津区の組合員より、既に数匹のマルタの遡上があるとの話を聞きました。東名高速道路橋下付近で釣りあげたとの情報も入りました。最近ではマルタの瀬付きが一番早い場所は、宿河原堰下ですが、今年は少し水の流れが変わりましたので稲田中前辺りの浅瀬付近が有望だと思います。

マルタの遡上は、通常立春過ぎてから徐々に始まるようです…最大サイズは62cmでした。遡上のピークは毎年春分前～4

月第一日曜頃だと思います。ただ、瀬ではなく、深場に潜んでいるはず。マルタは鮎の柔軟な泳ぎと比較して、剛の強い動きをします。深場の表層で鰭等が確認出来ることも有ります。マルタの瀬付き*の条件は、流速が時速2km以上で10km位(私が歩いて確認しました)の瀬で、これが一番重要事なのですが石にノコ等の付着物が無いという条件です。以上の事を考え、私は“雨降ってマルタ塊る”と、皆に言っています。このことは、雨による増水で、石が綺麗になるのがその最大の理由です。

2月下旬、今年も東名高速道路橋下で釣り上げ。

マルタウグイの遡上が5月まで観察できます。



また、4月の初旬に下流の田園調布堰の解放により大群で遡上するので、その頃がピークになります。その後は、日照の影響による、珪藻類の石への付着の関係で瀬付は下降線をたどりますが、流速が早ければ珪藻の付着が遅れますので、流速の早い瀬は最後まで瀬付くこともあります。さらに、4月末の降雨による増水があれば、5月半ばで、マルタが瀬付く事があります。過去の最終は5月19日にマルタの瀬付きが観察されています。

※瀬付き/小石の多い瀬に群れ集まって産卵すること。下左の写真参照

(平成26年2月23日 投稿者: 河川漁協 長谷川さん)



第10回

多摩川桜のコンサート

2014年4月5日(土) 13:00~15:30

来る4月5日(土)は恒例の多摩川桜のコンサートを開催します。ニヶ領用水の満開の桜の下「川崎の歌姫」桜井純恵さんをはじめ、稲田中学校のチアダンス部のみなさん、和太鼓「里空」+篠笛や地元宿河原の「アンダンテ」のギターアンサンブルと盛りだくさんの演奏内容です。

また、去年に引き続き多摩川源流の里 小菅村と丹波山村から温泉を選び「足湯体験」を実施します。

ニヶ領せせらぎ館前の広場で13:00~15:30で開催します。すべて無料ですので、ぜひ遊びにきてください。

(お問い合わせ 044-900-8386)

